



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2014~2015年度クラブテーマ
会長 石井 謙次

東京赤坂ロータリークラブ

No. 1299 / 2014. 11. 28

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

●本日の例会/ 2014年 11月 28日(金) 第1328回

卓話：イニシエーションスピーチ
佐久間 憲一 氏

●前回報告／2014年 11月 21日 第1327回例会

卓話：「ロータリー財団について」
RI2750 地区ロータリー財団
委員長 鈴木 義明 氏



紹介者：尾関会員

社会奉仕委員会：(吉田委員長)

12月20日(土)に港区立中学校の先生方と赤坂RCとの交流会を開催いたします。港区10校の中学校のうち8校の先生方、各3名様くらいの参加を予定しております。大変有意義な会になると思いますので、開催日が土曜日ですが、是非皆様にご参加いただきたくご案内させていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

社会奉仕委員会：(橋本サブリーダー)

奉仕プログラム情報交換会～奉仕のつどい～」が11月18日(火)に港区赤坂区民センターで開催されました。当日は228名が参加登録されたうち223名が参加され、奉仕に対する関心の高さを感じられました。東京赤坂ロータリークラブからは今年度幹部の石井会長・小林幹事・吉田社会奉仕委員長、次年度幹部は関幹事・清水奉仕プログラム委員長・藤井(万)社会奉仕委員長・石井(達)親睦委員長、入会が比較的新しい会員の浦平さん・魏さん・金山さん・藤井(宏)さんそれと主催者として大日方さん・橋本の計13名が参加致しました。坂本ガバナー・大日方委員長の挨拶で始まり各クラブの活動報告・職業奉仕のパネルディスカッション千代田グループから港区民祭りをロータリーデイとして実施した報告等盛りだくさんでした。最後に水野ガバナーエレクトから講評を頂き終了致しましたが、この催しは次年度にも繋げるとの事でした。

出席報告：会員 41名／出席 27名 欠席 14名
ゲスト：鈴木義明(卓話) 合計1名(敬称略)

●次回予告/2014年 12月 5日(金)第1329例会
卓話：井上眼科病院・院長 井上 賢治 氏

「ロータリーライフは例会から」
Rotary Begins from the weekly meeting

SAA委員会報告(11月21日)

出席者(敬称略、順不同)：入沢、畠中、尾関、清水、関、吉田、秦、金山、藤井(宏)、石井(達)(メモを取りませんでしたので出欠に間違이がありましたらご容赦ください)
6月以来となる打合せを例会前の時間を利用して行いました。

1) 現在、比較的新しい会員を配したテーブル(4, 5卓)にのみテーブルマスター制度を適用し、テーブルマスター(月当番リーダーが指名、赤いバラを着用。)に新会員のお世話をいただいております。これに対し、特に遠方のRCからメーキャップのゲストがあった場合、月当番リーダーの責任でショートスピーチ希望の有無等を察知し幹事に伝えるとともに、ベテラン会員のいるテーブルに案内しテーブル内での紹介をテーブルマスター(=ベテラン会員)に委嘱することとする。この場合、テーブルマスターが赤いバラを胸に付ける必要はない。従来のテーブルマスター制度は当面続けるが新会員がクラブに慣れて来たら中止する。

2) SAA当番表に現在例会出席が極めて稀な会員を外しておりますが、会場整備担当として割当を行い、月当番リーダーは割当週に該当会員に連絡を取るべきである。以上の意見を早速採用するつもりです。

P.S. 前任者より引き継いだSAA委員運営マニュアルに取りあえず上記内容を反映させた改定版を配付しますが、引き続き委員の皆様の意見を取り入れて改定して行く所存です。

石井 達 (文責)

11月 21日(金) / 12件 24,000円

累計 606,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

石井謙次/鈴木財団委員長、本日はよろしくお願ひ申し上げます。西澤民夫/鈴木様、本日の卓話楽しみにしています。尾関武男/ようこそ、鈴木委員長、本日の卓話よろしくお願ひします。村山公士/久し振りに2週連続で欠席してしまいました。橋本年男/鈴木R財団委員長、本日の卓話よろしくお願ひいたします。「奉仕のつどい」に参加いただきました皆様、ありがとうございました。お蔭様で無事終了する事が出来ました。金山さんニコニコご苦労様です。土屋東一/金山さんニコニコご苦労様です。石井達/もうすぐ忘年会シーズンですが、皆様、呑みすぎに気を付けましょう!! 関陽一/金山さんニコニコご苦労様です。鈴木さん、昨日はお世話になりました。今日もよろしくお願ひします。藤井万博/金山さんニコニコご苦労様です。佐藤仁/午後解散ですね。お忙しくなられる方は頑張ってください。金山さんニコニコご苦労さまです。長谷川毅/金山さんニコニコお疲れ様です。明日から家内と北海道に行って来ます。これからのお房孝行のはじまりです! 金山驍/本日もたくさんの方に喜んで頂きました。

8/29 畠中 一郎 氏 イニシエーションスピーチ

・一体どんなやつ？

栄えある赤坂ロータリークラブへの入会を許されて早一年が経とうとしています。そんな折、イニシエーションスピーチをする機会をいただき誠に光栄です。やや乱暴な自己紹介かもしれません、「一体どんなやつ？」と題し、今の自分を表現する上で最も分かりやすい3つのポイントをお示ししましょう。まず、「タフです」。なんといっても、この15年近く病気で寝込んだことがありません。また、かつて3年あまり駐在したアフリカのザイール国（現コンゴ民主共和国）において、その駐在中下痢一つしなかったという事実は、今でも当時のかの地での過酷な生活を知る日本人会仲間内では、「七不思議」のひとつとして語り継がれているくらいです。そのタフさは、現在も健在？で、とりわけ仕事の上でリスクに対する耐性が強いほか、かつて担当していた事業再生業務の現場においては、いかなる「悪役」もやってのけられるという芸風の域にまで達しています。そうした過去に起因するのか、考え方、感じ方において、とても「前向き」であるというのが、2つ目のポイントです。ただ、それもよく考えてみると、「片道切符しか持ち合わせていない」「単にバックギアがないだけ」など、はらはら、どきどきするような姿勢や行動になることが少なくなく、良いか悪いかと問われれば、「一概に善悪はつけられないが、決して人に勧められない」ことでもあるように思えます。ただ、その一徹さが様々な難しい局面で、新境地を開く不思議なパワーに転じることもあり、本人としてはなかなか止められないところもあります。つまり、人生のオンとオフが明確なのかもしれません、一方とても疲れる人生もあります。そうなるとどうしても、オフの使い方が重要になります。私の場合、趣味の世界、未だ自分の知らない世界への強烈な憧れや嫉妬みたいなものが、オンの自分をバランスさせてくれる方向に働いているようです。具体的には、音楽や芸能など自分から積極的に参加できるもののほかに、とにかく週末はいつもだれかがワイワイ集ってきてくれていて、そこにまた新たな出会いや発見があるという、そんな「磁場」みたいなものを作り上げていくこと自体も大いなる喜びになっています。

・なんでそうなっちゃたの？

どちらかと言うと静かで安定を選好する日本の社会において、上に述べた私のようなやつは、生きていきにくく、そもそも生まれてこないでしょう。では、どこでどうしてこんなやつが出来上がってしまったのかというと「純和風「天邪鬼」が、ブラックアフリカの業火に焼かれ、欧米のスタンダードに洗脳され、様々な異文化に

晒された挙句に15年ぶりに帰国した祖国日本が、自信喪失し、一等国から転げ落ちる様を見て強烈なショックを受けた」ためであります。個別には、1991年ザイールでの内戦に巻き込まれ、目の前で多くの人々が惨殺され、自分も銃口を向けられた経験をしたこと。フランスのグランゼコール、米国のビジネススクールで、まさに死に物狂いでビジネスのスタンダードとやらを叩き込まれてしまったこと。そして、フランス、ザイール、ベルギー、米国で勉強、仕事、生活をした経験は、意識するしないとにかかわらず、強烈に異文化コミュニケーションの実態を知り、それを武器にしていかなければ闘って生き残れないことを体得したこと。そして、そうした目と心を持って帰国した日本が、まるでぬるま湯のような世界におぼれ、自ら立つことを放棄しているようにも取れる状況に愕然としてしまったこと、などが複雑に絡み合い、反応しあって独特の世界観や日本観、そして自分自身の価値観形成に結びついてしまったといえるかもしれません。

・どうしたいの？

良いか悪いかは別として、上記の経験を経て出来上がってしまった自分という造形物を使って、何とか社会のお役に立てるものか、そう日ごろ考えているのが今の私です。そこで、一体全体これからどうしたいの？と問われたら、目も当てられないくらいに落ち込んでしまった日本の企業経営力の強化を通じて、まずは本当の意味で日本の再生を図りたい。そして、その勢いで日本型資本主義で世界を席巻してみたいと考えています。そのために、これまで存在しなかったような事業を立上げることを今計画しています。いくつか素案はありますが、現在あらゆる「ストレステスト」を試みているところです。一方、アフリカで自分の命を吹き消されかけた経験をしてしまったため、どうしても自分という資源の有限さを意識しないではおられないのです。つまり、一時も無駄に出来ない。自分探しや与えられる感動をありがたがっている場合じゃないのです。周囲に「生き急いでいる」と言われる所以がここにあります、そんな批判に遠慮している余裕はない内なる声が叫び続けていて、耳を覆ってもその声から逃れることはできません。

・お願ひです

そこで皆さんにお願いです。まだまだ、皆さんに理解していただいている私がいて、皆さんのことによく理解していない私がいるかもしれません。これはなんといってももったいないことです。いろんな切り口で皆さんと交わってみたい、というのが私の願いです。主な切り口は以下の通り。これでもまだ一部です。どれかご関心のあるテーマがあれば、どうぞご遠慮なくお申し出ください。一献酌み交わしながら秋の夜長大いに語り合いましょう。

こんな話題でお話できます。

十字砲火を浴びるということ

独裁政権下で暮らす

10人の使用人と暮らす

熱帯病

ブラックマジック

ピグミー族と格言

私とPTSD

落語の魅力

音楽の魅力

芝居の魅力

パリに暮らす

ボストンに暮らす

ブラッセルに暮らす

フォトグラフィックメモリー

土下座するということ

リストラと団交

事業再生の現場

帰国おじさん

レアメタル

情報収集活動

日本の経営

New Business

経営力という技

アニメビジネス

エネルギー改革

地域分散型ビジネス

グローバル人材

ビジネスモデル